

緩和ケアだより

松江市立病院 緩和ケア病棟広報誌

緩和ケア病棟のクリスマス

2020

vol.

29



 松江市立病院 緩和ケア病棟

題字デザイン：Katsuto Nagira



緩和ケア病棟の理念

緩和ケアとは、苦痛の緩和を必要とする悪性疾患の患者とその家族のQOL（人生と生活の質）を改善することです。

当院緩和ケア病棟では、患者やその家族の想いを可能な限り尊重し、その人らしい生活を送ることができるように、さまざまな専門家とボランティアがチームとして支えます。

基本方針

1. 痛みやその他の苦痛となる症状を緩和します。
2. 患者さんがその人らしく生きることができるように支えます。
3. 無理な延命や意図的に死を招くことはしません。
4. 病気の早い段階から適用し、積極的な治療に伴って生ずる苦痛にも専門性をもって対処します。
5. 患者さんの希望に沿い、在宅への支援を行いません。
6. 患者さんの療養中から死別した後に至るまで、家族が様々な困難に対処できるように支えます。

C O N T E N T S

● Message 『緩和ケア病棟での3年間のリハビリテーションの関わり』	1
● 「福田さん作品展」	2・3
● 今回のミドコロ～クリスマス～	4・5
● 季節の行事	6・7
● 徒然日記	8



作業療法士

坂本 聖也

緩和ケア病棟での3年間の リハビリテーションの関わり

ある男性患者さんは手を挙げながら「まいど！よろしくね」

ある女性患者さんは「こんにちは、待っていました。お願いしますね」

ある家族さんは「こんにちは。ほらリハビリの人が来られたよ」と話かけられる。

お部屋に訪室するとそんなやり取りが日常茶飯事となってきました。

専任でのリハビリテーション担当となり3年が経ちました。それまでは急性期の患者さんに対するリハビリを展開していたため病状の改善と共にADLや身体機能面の改善が認められるため、機能回復第一の考えで日々リハビリをしていました。しかし緩和ケア病棟でのリハビリは患者さんと家族の要望を十分に把握して行うため、ADLや身体機能面の改善は二の次であることも多く当初はジレンマを感じることもありました。私は作業療法士であるため、日常生活面や精神面のケアに重点を置いていましたが、やはり「身体機能を改善し、元の生活に戻ってほしい」とそんな気持ちが強くありました。しかし病棟でリハビリをしていく中である患者さんから「すべて良くすることは難しいから1つでも良くなればうれしいです。例えば1日の中で痛い時間が少なくなれば良いことや動ける時間が少しでもあれば良い」。

「それが自分一人では出来ないから手伝ってほしい」と要望がありました。その言葉

を聞いてから自分の中でのリハビリ感が少し変わってきました。

実際リハビリの中では「最近足が弱ってきたけどどうしたらいいですか？」「ベッドから起きることが大変だけど楽に起き上がる方法はありませんか？」「トイレの便座から立ち上がりがしにくくなっているんだけどどうしたらいいですか？」と生活面に即した要望を非常に多く感じます。実際の動きや改善点を実動し提案し実施することで、解決したときの患者さんの発言や顔を見ると、安堵された表情で「出来て良かった。ありがとう。これで生活が出来る」と喜ばれます。また「一緒にお茶を飲みましょう。ちょっとここにおってくれるだけで良いよ」と時間の共有も出来るようになりました。

病状の変化もあり出来ないことが増えていく中でも何かしらの方法によって出来るようになること、その術を知っているのがわたしたち療法士であると思います。また専任であることからちょっとの時間も共有出来、タイムリーな関わりが出来ることもメリットであると思います。

患者さん一人一人が自分らしく、その日を悔いなく過ごせるように療養を支えることが重要であり、その人の生活・人生の質を最大限活かせるよう日々関わりを持っていければ良いと思っています。これからも日々精進していきたいと思っています。



福田雅之
油絵 作品展

福田さん 作品展

令和2年2月4日から2週間、患者さんの絵画展を開催しました。
以前から「自分の作品を展示するのが夢だった」と言われ、職員による画集も作成しました。
油絵を間近で見る機会は少ない人が多く、他の患者さんやご家族の方々も立ち止まって見入っていました。





今回の
ミドコロ

クリスマス会

令和元年12月19日(木)、クリスマス会を行いました。この日は、松江市内で音楽活動をされている、『イモージェ』の皆さんにお越しいただきました。「カリンバ」という楽器を演奏されるのですが、この「カリンバ」は別名「親指ピアノ」とも呼ばれており、オルゴールの元になったのではないかとされています。木の箱のような板に金属の細い棒をつけて、それを親指で弾くと、とても柔らかく、優しい音色がします。普段あまり見る機会の少ない楽器に皆さん興味深々でした。その柔らかく優しい音色に、スタッフも患者さんも皆癒されました。また、患者さんの飛び入り参加もありました。スーツとキャップ帽を裏返しに装着して、ネクタイでキャップ帽を縛り、神主のような恰好(宴会芸)になったかと思ったら、それに合わせて巫女さんに扮した和田看護師長とともに、健康と安全を祈願してくださいました。その他にも患者さんご家族の飛び入りでフルーツ演奏も加わり、大爆笑と感動の渦で、とても温かい雰囲気の中終わることができました。皆様、ご協力本当にありがとうございました。





スタッフと打ち合わせ



患者さんご家族とフルーツ
テュエツト



ボランティアさん手作りの
クリスマスカード



ボランティアさんとスタッフ



いたずらをしていますよ~

無事終わったね。お疲れ様♪



もう何の会かわかりません

オープニングはやはりこれ！ボランティアさんを先頭に、炭坑節踊りで開始です。今回は、大正琴の演奏を市内でされている皆様にお越しいただきました。チャイナドレスが皆さん良く似合っておられました！ゆったりした曲からアップテンポなノリの良い曲まで、幅広く素晴らしい演奏にみんな酔いしれました。

月見会

令和元年9月12日(木)



すばらしい演奏に酔いしれます



すばらしいステップ♪



ボランティアさんを先頭に、みんなで炭坑節踊り！



大正琴の皆さま。チャイナドレスが似合いすぎです！



うさ耳におう？



楽しそう！

新春邦楽コンサート

令和2年1月16日(木)

1年の始まりと言えばやはりこの行事。今年も天気に恵まれ、穏やかな日差しの中行うことができました。例年に比べたら患者さんやご家族の人数も多くて、にぎやかでした。皆様、ありがとうございました。



息のぴったり合った演奏です



間近で見る箏。迫力あります。



横の姿も美しいです



今年は子年。十二支の始まりです！



踊る獅子舞兄弟



お部屋の入り口もお正月♪

節分

令和2年2月3日(月)

恒例の岩下(医師)鬼に加えて、今年は迫力の和田(師長)鬼も加わりました！気合十分！患者さんも、「まめまき」にかけて句をプレゼントしてくださいました。みなさん、厄を払えたかな。



師長さん(和田さん最高です！)

桃の節句

令和2年3月5日(木)

ものすごくインパクトのあるお内裏様とおひなさまの登場に、会場大盛り上がりでした。患者さんご家族のご協力もあり、フルートデュオなどミニコンサートも充実した会となりました。皆様ご協力ありがとうございました！



ご家族とデュエット!! 緊張します。



安部先生のハーモニカでオープニングです



手作り雛



なんでそんなこと言うんですか

やめてその顔でこっちにこないで〜!



写真撮らせてくださいよ〜 今忙しいのっ!

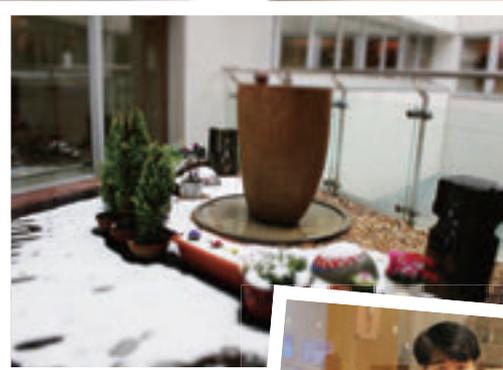


あれ?!

手作りの雷門。お正月、初詣に行けない患者さんがお参りしていました。



徒然日記



ボランティアさん、いつも縁の下のか持ち、ありがとうございます。

安部先生のお誕生日に花束とケーキを届けてくださった方！ありがとうございました！



編集後記

この冬は、もう『コロナウイルス』の一言に尽きるのではないのでしょうか。

私が生まれてきて経験した中で、一番の脅威だったように思います。この記事を書いている現在は、まだまだパンデミック宣言のすぐ後で、色々な情報に翻弄されているところです。

島根県で現在コロナはまだ発生していません。それでも見えない敵に戦々恐々としています。医療従事者はもちろんですが、その他医療現場に携わる者として、常に正しい情報を仕入れながら様々な場面に的確に対応していかななくてはならない、そんな当たり前のことをひどく再認識されました。

コロナに負けずに、ワンチームで乗り越えていきましょう！

西 紫

編集
委員会

編集 長：安部 睦美
編集・校正：岩下 智之、和田 祥恵
編集・写真：西 紫

令和2年3月 発行

松江市立病院 緩和ケア病棟

〒690-8509 島根県松江市乃白町32-1

TEL：0852-60-8000（代表）／FAX：0852-60-8005（総務）



松江市立病院
MATSUE CITY HOSPITAL